

2度目の緊急事態宣言 若者も重症化する真実

7日に1都3県（千葉・埼玉・神奈川）に2度目の緊急事態宣言が発令され、12日には11都府県に拡大されました。これまでの経過を振り返ってみます。

昨年3月2日に全国の小中高で一斉臨時休校。4月16日に緊急事態宣言の対象地域を全都道府県に拡大。7月22日に東京を除く「17都府県」に拡大。12月12日に国内感染者が初の3千人を越え、12月28日「17都府県」に2度目の緊急事態宣言が発令。

第3波襲来で首都圏では、陽性と分かっても医療機関や宿泊療養施設が窮迫しているため、自宅待機を

せざるを得ない状況です。待機していて症状が急変したり、悪化して救急搬送される事例も増えています。

コロナ禍の感染者数増大の中で、注目したいことがあります。若者は重症化しないけれども感染すると後遺症が残ることです。

3人に1人は、治癒後も後遺症が長びくことが分かっています。具体的には「息切れ激しくなる。目や口の乾燥。疲れやすい。耳が聞こえなくなる。咳が続く。食欲や臭覚が戻らない。関節が痛い。」等です。

コロナ禍は出口が見えないために、誰もが不安を募らせています。2月末からワクチン接種が始まります。終息するまで緊張感を持ち続けて、辛抱と我慢を続けていきましょう。

○語彙力チェック

①「脆弱（ぜいじゃく）」の説明文の（ ）に適語をいれよ。

「脆」は（ ）い。「弱」はよわい。

A やわらか B もろ C はかな

②「精髓」の意味として、正しいのは次のどれか。

A 動物の背骨 B 肉の筋

C 最も重要なこと

③「凄然」は非常に寂しい様子を表す言葉である。次のどれが正しい読みか。

A せいぜん B そうぜん C さいぜん

④「ひどく悲しむこと」を表す「せいそつ」を漢字で書くと次のどれか。

A 盛装 B 成層 C 悽愴 D 政争

⑤「星霜を重ねる」という慣用句の正しい意味は次のどれか。

A 寒空の霜をかき集める。

B 長い年月を経る。

C 冷たく輝く星が空一面にちりばめられている。

（解答）① B ② C ③ A ④ C ⑤ B